

片頭痛用トリプタンと母乳育児：乳房の痛みと射乳困難

Prescrire Int. 2026 Vol.35 No.277 Page25 の記事を基に本誌で翻訳と解説

2024 年に、複数の世界的な医薬品安全性監視データベースを分析した結果、トリプタン（最も多くはスマトリプタン）を服用していた授乳中の女性での害反応の報告が 26 件確認された。症状は、乳首の痛みや灼熱感、乳房の痛み、乳房の張り、痛みを伴う乳汁分泌など。トリプタンが血中から消失した後、痛みは軽減した。少な

いことが示唆されている。しかし、母乳で育てられた乳児に対するリスク、特に胃腸や神経・精神、心臓血管への影響を含む血管収縮作用に関連するリスクを排除することはできない [2]。さらに、トリプタンは血管収縮作用があるため、乳汁の分泌を減少させることが予想される [2]。